

令和5年9月6日招集

茂原市議会定例会会議録（第3号）

議事日程（第3号）

令和5年9月14日（木）午前10時00分開議

第1 一般質問

- (1) 工藤孝弘議員
- (2) 高山佳久議員

茂原市議会定例会会議録（第3号）

令和5年9月14日（木）午前10時00分 開議

○議長（金坂道人君） おはようございます。ただいまから本日の会議を開きます。

現在の出席議員は17名であります。したがって、定足数に達し会議は成立しました。

————— ☆ ————— ☆ —————

議 事 日 程

○議長（金坂道人君） 本日の議事日程は、お手元に配付してありますので、それにより御了承をお願いいたします。

————— ☆ ————— ☆ —————

一 般 質 問

○議長（金坂道人君） それでは、これより議事日程に基づき、議事に入ります。

議事日程第1「一般質問」を行います。

昨日からの一般質問を続行します。

本日は質問順位6番から7番までとします。

最初に、工藤孝弘議員の一般質問を許します。工藤孝弘議員。

（2番 工藤孝弘君登壇）

○2番（工藤孝弘君） 皆様、おはようございます。会派、創政会の工藤孝弘でございます。

新型コロナウイルス感染症の5類感染症の移行により、行動制限がなくなり、声出し応援が戻った第105回全国高等学校野球選手権記念大会に見受けられるよう、各種の夏祭りや花火大会、お盆の帰省など、活発な行動が戻ってきてまいりました。茂原市においても、コロナ禍で中止となっていた第69回茂原七夕まつりが4年ぶりに開催され、熱狂や興奮に包まれたコロナ禍以前の茂原市に戻ってきたように感じました。しかし、9月8日の台風13号で状況が変わりました。台風13号は、千葉県内各地に線状降水帯によって滝のような大雨をもたらしました。過日の水害対策特別委員会では、下水処理場の浸水、大雨対策と、一宮川や赤目川の河川整備について、現地調査をさせていただきました。河川や橋梁への土のうや止水板の対策と併せて、水害対策に効果が発揮されると思いましたが、今回の線状降水帯による市内の浸水被害や各地での大雨による被害を見ますと、自然の猛威を再び大きく感じ受けました。そして、被災された方々に対して、まずお見舞いを申し上げます。この夏、関東地方は猛暑であり、国内各地ではひでりや大雨による被害がありました。茂原市は、地球温暖化防止のため市制施行70周年記

念式典内で、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指すことを表明しました。私も、このたびの大雨による市内の浸水被害などから、被災して、あらわになる社会のもろさを受け止め、今までに経験のない地球温暖化の気候変動について、未来に向けて注視しながら、政策により対策を講じていくことに決意を新たにしました次第です。

それでは、通告に従い、1回目の質問をさせていただきます。

初めに、公園の整備について質問いたします。前回令和3年9月定例会で、富士見公園の野球場のトイレや庭球場のクラブハウス内のトイレの整備について質問させていただき、御答弁いただきました。そこで、公園の整備については公園施設長寿命化計画の中で優先順位を決めながら検討していくとのことでありました。そこで伺います。茂原公園や富士見公園など、今後の公園施設長寿命化計画の優先順位と課題について、どのように考えているのか伺います。

2つ目は、交通安全について質問いたします。通学路整備の達成率について、71%と、県下ワーストワンとの報道が、本年6月にありました。この件について、担当課によると、各市町村により報告対象とする箇所や対策方法等の捉え方にばらつきがあり、茂原市は対象とした箇所が比較的多かったことなどから、このような報道結果になったのではないかと伺いました。そこで伺います。令和3年に行われた通学路緊急一斉点検で対策が必要となった箇所に関して、今年度末までの整備完了予定数と達成率の見込み、また、残り何か所の整備が必要なのか伺います。

3つ目は、水害対策について質問いたします。市議会として、河川内水対策として、国や県、関係機関に、太平洋まで延びる新たな導水路の検討について要望いたしました。また、千葉県議会の令和5年6月定例会において、茂原市選出の西ヶ谷県議会議員の同様の質問に対し、千葉県は、流域治水の具体的な検討から、県、市町村の連携が必要であるとの答弁がありました。そこで伺います。新たな導水路について、県、市町村の連携の必要性について、市の考えを伺います。

最後に、農業振興について2点質問いたします。

1点目は、多面的機能支払交付金の活用による地域で取り組む農業についての質問です。生産者の高齢化による地域の課題であった六ツ野平曾根地区の排水路の整備については、緊急性が高いとのことで、昨年度の早急な対応、大変ありがとうございました。そこで伺います。交付金を活用し、自らの地域で排水路の保全を担う保全会等の役割について、どのように考えているのか伺います。

2点目は、昨年度も質問いたしましたが、所得の安定化を図る政策、水稻生産者の経営の安

定化にもつながる飼料用米への作付転換の補助事業について質問します。昨年度、主食用米と飼料用米との収益比について、飼料用米が国、県及び市の補助金が加算されることで、飼料用米が主食用米に対し、1俵当たり310円上回り、市内の作付面積79.8ヘクタールから138.7ヘクタールへ、58.9ヘクタールと大幅に増加したとの御答弁をいただきました。そこで伺います。本年度の主食用米と飼料用米の前年度との作付面積比と、その傾向に対する市の考えを伺います。

以上で1回目の質問とさせていただきます。御答弁よろしくお願ひいたします。

○議長（金坂道人君） ただいまの工藤孝弘議員の一般質問に対し、当局の答弁を求めます。

市長 田中豊彦君。

（市長 田中豊彦君登壇）

○市長（田中豊彦君） 工藤孝弘議員の一般質問にお答えさせていただきます。

私からはまず、水害対策について、新たな導水路についての御質問でございますが、太平洋まで延びる新たな導水路につきましては、広域地盤沈下の影響や地理的要因による浸水リスクを解消するためにも、県及び流域市町村の連携が必要であると考えております。このことから、長生郡内の7市町村で構成する一宮川流域治水環境対策協議会において、既に国及び県へ導水路の検討を要望しているところでございます。

次に、農業振興についての中で、交付金を活用し、自らの地域で排水路の保全を担う保全会の役割について、どのように考えているのかとの御質問でございますが、農村の過疎化や高齢化など、農業従事者の減少する中、農業者だけでなく、地域ぐるみで農道や水路などの農業施設の維持管理を担っていただいております。今後においても地域農業の中心的な組織として、高く評価するとともに、大変感謝しているところでございます。

私からは以上でございます。

○議長（金坂道人君） 都市建設部長 渡辺修一君。

（都市建設部長 渡辺修一君登壇）

○都市建設部長（渡辺修一君） 都市建設部所管に関わります御質問に御答弁いたします。

公園の整備についての御質問で、公園施設の長寿命化計画の中で、今後の公園施設長寿命化計画の優先順位、課題について、どのように考えているのかとの御質問ですが、茂原公園は、平成30年度に長寿命化計画を策定し、整備を実施しております。今年度に、富士見公園と緑ヶ丘地先の高久蓮池公園の長寿命化計画を策定いたしますが、茂原公園の整備を優先するため、令和7年度以降に富士見公園、高久蓮池公園の整備を進めていきたいと考えております。実施

していくにあたり、人件費や物価の高騰による工事費等に影響が出るため、策定した計画どおりに進められるかが課題となります。以上でございます。

○議長（金坂道人君） 教育長 内田達也君。

（教育長 内田達也君登壇）

○教育長（内田達也君） 教育関係の御質問に御答弁申し上げます。

通学路の整備について、今年度末までの整備完了予定数と達成率の見込み、また、残り何か所の整備が必要なのかとの御質問でございますが、八街市の事故を受けて、令和3年度に実施した小学校通学路の緊急一斉点検の結果、対策が必要な箇所は100か所であり、このうち、今年度末の整備完了予定数は84か所であり、達成率は84%となる見込みです。残り16か所の整備が必要となりますが、引き続き、通学路の安全対策に努めてまいります。以上でございます。

○議長（金坂道人君） 経済環境部長 飯尾克彦君。

（経済環境部長 飯尾克彦君登壇）

○経済環境部長（飯尾克彦君） 経済環境部所管に関わります御質問に御答弁申し上げます。

農業振興について、本年度の主食用米と飼料用米の前年度との作付面積比とその傾向に対する市の考えはとの御質問でございますが、本年度の主食用米の作付面積につきましては、1128.4ヘクタールで、前年度に比べ14.3ヘクタールの減少となりました。また、飼料用米の作付面積につきましては、121.3ヘクタールで、前年度に比べ17.4ヘクタールの減少となっております。作付面積が減少した要因といたしましては、主食用米については高齢化による担い手の減少やコロナ禍による米価の下落が影響していると考えており、また、飼料用米については、補助金の減額により、取り組む生産者が減少したためと考えております。以上でございます。

○議長（金坂道人君） 再質問ありますか。工藤孝弘議員。

○2番（工藤孝弘君） 御答弁いただき、ありがとうございました。これより、一問一答方式により、再質問させていただきます。

初めに、公園の整備について質問いたします。先ほどの御答弁で、まずは茂原公園の整備を優先することとありますが、今後の茂原公園の整備概要について伺います。

○議長（金坂道人君） 都市建設部長 渡辺修一君。

○都市建設部長（渡辺修一君） 来年度以降は、弁天橋の補修工事、第1、第2広場周囲の園路改修工事、第1駐車場から園路へ上がる福祉坂路新設工事等を計画しております。

○議長（金坂道人君） 工藤孝弘議員。

○2番（工藤孝弘君） 改修工事や補修工事など様々な工事の計画があるとのことですが、工

事の完成年度について伺います。

○議長（金坂道人君） 都市建設部長 渡辺修一君。

○都市建設部長（渡辺修一君） 完成は、令和10年度を計画しております。

○議長（金坂道人君） 工藤孝弘議員。

○2番（工藤孝弘君） ありがとうございます。様々な方に親しまれる公園を期待しております。

続きまして、予算委員会や決算委員会でも質問させていただきましたが、茂原公園のカエントケ対策について、対策の経緯、今現在の状況について、そして今後の対応について、どのように考えているのか伺います。

○議長（金坂道人君） 都市建設部長 渡辺修一君。

○都市建設部長（渡辺修一君） カエントケの発生は、令和3年8月に茂原公園内にて確認し、職員により撤去しました。その後、令和3年度に2回、令和4年度に5回、今年度は7月に1回撤去し、それ以降は確認しておりません。毎年、発生の時期となる7月から11月までの間、1週間に1回、定期的に園内の点検を行っております。来園者には市公式ウェブサイトと立て看板にて、発見したら絶対に触らないよう呼びかけております。

○議長（金坂道人君） 工藤孝弘議員。

○2番（工藤孝弘君） カエントケの注意看板、とても目立っていました。そして、点検や撤去の御尽力、大変ありがとうございます。

では、続きまして、安全対策について再度確認します。工事中の茂原公園の弁天湖については、水が現在は満たされていません。ゴルフ場のコース内の池については、水深が深く、池から上がりづらく滑りやすい危険な箇所には、救助対策の器具があります。工事中の弁天湖を確認しますと、周囲の壁面は階段状の石のブロックで積み上げられた護岸になっており、立派になったと感じました。ついては、日本桜名所100選にも選ばれ、多くの市民、そして、県内外の方も訪れる茂原公園です。今後、工事完成後に水位が通常に戻った際、転落等の安全対策についてどのように考えているのか伺います。

○議長（金坂道人君） 都市建設部長 渡辺修一君。

○都市建設部長（渡辺修一君） 弁天湖周辺は、全てに転落防止柵を設置するとともに、柵内はツツジにより植栽をすることで、容易に来園者が池に近づけない対策を取っております。

○議長（金坂道人君） 工藤孝弘議員。

○2番（工藤孝弘君） 安全対策について、引き続きよろしく願いいたします。

それでは、以前、移住・定住施策の質問をした際、茂原市を選んでいただくため、ロケツーリズム等のシティプロモーション事業に積極的に取り組んでいくとのお答えがありました。そのような中、茂原公園や富士見公園は、映画やドラマのロケ地として利用されていると思いますが、その利用状況について伺います。

○議長（金坂道人君） 経済環境部長 飯尾克彦君。

○経済環境部長（飯尾克彦君） 茂原公園と富士見公園につきましては、どちらもロケ地として多くの問合せがあり、テレビドラマ、バラエティー、情報番組等、これまでに24件の撮影が行われております。以上です。

○議長（金坂道人君） 工藤孝弘議員。

○2番（工藤孝弘君） ありがとうございます。多くの問合せや撮影が行われてきたことがよく分かりました。

それでは、持論ですが、ロケ地の候補として富士見公園の野球場の可能性を探りますと、ストライク、ボール、アウトの表示が以前の旧表示であるため、その時代背景と重なるロケ地の候補として需要が増す可能性があると考えられ、趣がある球場も貴重であると思います。富士見公園の野球場の改修や庭球場のクラブハウスの外構部を含む全面改修の検討だけではなく、まず、両施設内部のトイレの改修も検討していただきたいと考えます。そのことについて、市の見解を伺います。

○議長（金坂道人君） 都市建設部長 渡辺修一君。

○都市建設部長（渡辺修一君） 富士見公園は、今年度、全ての施設について調査点検を行っており、点検結果に基づき、各施設の緊急度判定をし、改修する優先順位を決めます。野球場内管理棟と庭球場内管理棟にあるトイレもそれぞれの施設の一部として判定し、優先順位に基づき対応いたします。

○議長（金坂道人君） 工藤孝弘議員。

○2番（工藤孝弘君） 御答弁ありがとうございます。今年度より改修する優先順位を決定するとのことですが、富士見公園は災害時には広域避難場所にも指定されています。災害時には仮設トイレの設置についての話もありますが、使用方法を含め、利用者はふだん使いに近いトイレを好みます。緊急度の判定にもよりますが、トイレの改修の御検討をぜひともよろしく願います。

次に、通学路の整備について質問いたします。令和3年に行われた通学路一斉点検により、今年度末で84か所、84%の整備完了の見込みとのことでした。残りの整備必要箇所のうち、茂

原市が実施する箇所を進捗状況について伺います。

○議長（金坂道人君） 都市建設部長 渡辺修一君。

○都市建設部長（渡辺修一君） 残りの16か所のうち13か所については茂原市で行う必要箇所となっております。現在事業中の5か所につきましては早期の完成を目指し、残りの8か所につきましては暫定整備を含めた形で検討しております。

○議長（金坂道人君） 工藤孝弘議員。

○2番（工藤孝弘君） スピード感を持った御対応をよろしく願いいたします。

それでは、以前質問した茂原警察署南側のJR高架下の歩道整備についても対象箇所となっていると思います。JR東日本千葉支社との協議を行ったと伺いましたが、今後の予定について伺います。

○議長（金坂道人君） 都市建設部長 渡辺修一君。

○都市建設部長（渡辺修一君） 茂原市で測量及び詳細設計を行った後、再度JR東日本千葉支社と整備内容や借地面積等について協議を進めることとしております。

○議長（金坂道人君） 工藤孝弘議員。

○2番（工藤孝弘君） 前回の質問でも、財源の確保の問題があるとのことでした。事業化の検討材料として、JR高架下が暗いため、景観や安全対策、防犯面を考慮しての道路照明、そして、排水対策も含めて詳細な設計をよろしく願いいたします。

続きまして、河川内水対策について質問いたします。長生郡市の7市町村で構成する一宮川流域治水環境対策協議会において、国及び県へ導水路の検討を要望しており、新たな導水路によって浸水リスクを解消するためには、県及び流域市町村の連携が必要であるとお考えですが、検討を進める上での課題等は考えられるのか伺います。

○議長（金坂道人君） 都市建設部長 渡辺修一君。

○都市建設部長（渡辺修一君） 整備計画の策定及び流域をまたがることによる関係機関との調整などが考えられます。

○議長（金坂道人君） 工藤孝弘議員。

○2番（工藤孝弘君） 関係機関との調整等が課題として考えられるとのことですが、導水路の整備促進協議会の立ち上げがまず必要と考えられますが、市の見解を伺います。

○議長（金坂道人君） 都市建設部長 渡辺修一君。

○都市建設部長（渡辺修一君） 今後、導水路の検討を進める中で、協議会の必要性について関係市町村と連携しながら判断してまいりたいと考えております。

○議長（金坂道人君） 工藤孝弘議員。

○2番（工藤孝弘君） 御答弁ありがとうございました。このたび、一宮川中流域で多くの被害がありました。治水対策における県に対しての働きかけについて、近隣市町村と連携し、とりわけ茂原市が旗振り役、先頭となつての引き続きの対応をよろしくお願いします。

次に、農業振興について、多面的機能支払交付金の活用による地域で取り組む農業について質問いたします。多面的機能支払交付金事業は、後継者不足や高齢化などにより、農業従事者の減少の中、農業者だけではなく、地域ぐるみで農道や水路、農業施設の維持管理をしていただいており、市においてもありがたい交付金事業とのことですが、では、多面的機能支払交付金を活用している団体及び活動面積の推移について伺います。

○議長（金坂道人君） 経済環境部長 飯尾克彦君。

○経済環境部長（飯尾克彦君） 本年度は26団体が交付金を活用しており、その活動面積は、941.17ヘクタールでございます。なお推移につきましては、事業開始年度である平成26年度が15団体、779.42ヘクタール、5年目の平成30年度が28団体、1150.46ヘクタール、昨年度は26団体、951.62ヘクタールでございました。以上です。

○議長（金坂道人君） 工藤孝弘議員。

○2番（工藤孝弘君） 交付金活用団体が増加傾向であること、また、活動をやめた団体があることも分かりました。

それでは、市内における農地面積のカバー率を伺います。

○議長（金坂道人君） 経済環境部長 飯尾克彦君。

○経済環境部長（飯尾克彦君） 市内の農地全体の面積、3512.4ヘクタールに対しまして、令和5年度の多面的機能支払交付金を活用した対象農地は941.17ヘクタールであり、約26.8%をカバーしております。以上です。

○議長（金坂道人君） 工藤孝弘議員。

○2番（工藤孝弘君） ありがとうございます。多くの農地をカバーしていることがよく分かりました。多面的機能支払交付金の交付を受けることにより、機械を購入し、人手を確保することで、今まで手が回りづらかった排水路の整備にとっても役に立っているとの声が聞かれています。しかし、本交付金の活動期間である5年間でスタートした保全会については、購入したい機械の耐用年数が5年以上のため、購入できないとの不満の声も聞かれます。そこで質問します。交付金の活動期間である5年間でスタートした保全会は、今後もこのような活動を引き継ぐことができるのか。また、耐用年数の関係で購入できなかった機械について、購入する

ことができるのか伺います。

○議長（金坂道人君） 経済環境部長 飯尾克彦君。

○経済環境部長（飯尾克彦君） 交付金の活動期間は、5年間と定めておりますが、5年目以降も、更新の手続を行えば活動期間を延長することが可能となっておりますので、機械の購入につきましては、活動期間内に減価償却が終了できれば問題ありません。以上です。

○議長（金坂道人君） 工藤孝弘議員。

○2番（工藤孝弘君） 機械の購入について、活動期間が延長することで購入できることが分かりました。交付金活用団体への引き続きの説明や対応につきまして、よろしく願いいたします。多面的機能支払交付金の制度については、地域資源の基本的な保全活動である農地維持支払交付金と、水路や砂利道などの地域資源の軽微な整備をする資源向上支払交付金の2本の構成となっています。活動団体のほとんどは保全活動の農地維持、支払交付金での活動ですが、水路や農道の軽微な補修を地域で取り組んでいただける活動団体がいらっしゃれば、資源向上支払交付金の活用も、地域協働の力がさらに高められる交付金の活用なのではないでしょうか。そこで伺います。資源向上支払交付金の活用について、市の見解について伺います。

○議長（金坂道人君） 経済環境部長 飯尾克彦君。

○経済環境部長（飯尾克彦君） 保全活動を実施している団体の皆様は、早期に施設の破損や劣化状況を発見し、補修していただくことが可能であることから、資源向上支払交付金を積極的に活用し、地域協働で取り組んでいただきたいと考えております。以上です。

○議長（金坂道人君） 工藤孝弘議員。

○2番（工藤孝弘君） 御答弁ありがとうございました。資源向上支払交付金の活用を希望する団体もあろうかと思っておりますので、多面的機能支払交付金の引き続きの推進活動について、積極的な御対応、よろしく願いいたします。

次に、農地保全について質問いたします。様々な要因が絡んでいますが、高齢化による担い手の減少や飼料用米の補助金額の減額等により、主食用米の作付のほうが多かったのがよく分かりました。では、主食用米作付と飼料用米作付の農業者の収入について、両者の収入の試算の比較について伺います。

○議長（金坂道人君） 経済環境部長 飯尾克彦君。

○経済環境部長（飯尾克彦君） 令和5年度における10アール当たりの収入を試算いたしますと、主食用米作付農業者の収入については、11万3400円。飼料米作付農業者については、9万760円となっており、主食用米作付農業者が2万2640円上回っております。以上です。

○議長（金坂道人君） 工藤孝弘議員。

○2番（工藤孝弘君） 主食用米作付のほうが試算においては収入が多いことが分かりました。
では、昨年度の有害鳥獣の被害状況について、面積及び被害額について伺います。

○議長（金坂道人君） 経済環境部長 飯尾克彦君。

○経済環境部長（飯尾克彦君） 現在はイノシシによる被害状況しか確認できませんが、千葉県農業共済組合わかしお支所の調べによりますと、令和4年度における市内の被害面積は8000平方メートル、被害額は99万3000円と伺っております。以上です。

○議長（金坂道人君） 工藤孝弘議員。

○2番（工藤孝弘君） ありがとうございます。

それでは、市内でよく確認することができる電気柵の設置状況について伺います。

○議長（金坂道人君） 経済環境部長 飯尾克彦君。

○経済環境部長（飯尾克彦君） 補助金を活用した電気柵の設置状況につきましては、事業を開始した平成28年度から令和4年度までの7年間に約80ヘクタールの設置をしております。また、本年度は7.6ヘクタールの設置を予定しております。以上です。

○議長（金坂道人君） 工藤孝弘議員。

○2番（工藤孝弘君） 電気柵の設置面積の拡大について、よく分かりました。

では、昨年度の有害鳥獣の捕獲頭数について伺います。

○議長（金坂道人君） 経済環境部長 飯尾克彦君。

○経済環境部長（飯尾克彦君） 昨年度の捕獲頭数につきましては、イノシシ307頭、アライグマ559頭、ハクビシン87頭、タヌキ157頭、ニホンジカ1頭、キョン1頭の合計1112頭を捕獲いたしました。

○議長（金坂道人君） 工藤孝弘議員。

○2番（工藤孝弘君） イノシシが多く捕獲されていますが、令和2年度に稼働されたジビエ工房茂原への搬入状況について伺います。

○議長（金坂道人君） 経済環境部長 飯尾克彦君。

○経済環境部長（飯尾克彦君） 令和2年7月の稼働開始から令和4年度末までのジビエ工房茂原への搬入状況につきましては、イノシシ1270頭、ニホンジカ398頭、キョン5頭の合計1673頭が搬入されており、そのうちイノシシ150頭は、茂原市内で捕獲されたものが搬入されております。以上です。

○議長（金坂道人君） 工藤孝弘議員。

○2番（工藤孝弘君） 市内から多くのイノシシが搬入されていることがよく分かりました。電気柵の設置の拡大から見受けられるよう、農地保全の観点から見ても、有害鳥獣対策は非常に重要となってきています。

では、駆除者の人材確保として、従事者に対する支援の拡充が必要と考えますが、見解を伺います。

○議長（金坂道人君） 経済環境部長 飯尾克彦君。

○経済環境部長（飯尾克彦君） 本市の鳥獣被害防止対策推進協議会では、捕獲頭数に応じて、個人従事者に報奨金を支払っておりますが、そのほかに、わな等捕獲機材の導入支援や研修経費の支援などの拡充を図ることで、従事者の負担軽減や捕獲頭数の増加につなげてまいりたいと考えております。以上です。

○議長（金坂道人君） 工藤孝弘議員。

○2番（工藤孝弘君） ありがとうございます。捕獲従事者の協力がなくしては有害鳥獣の被害の拡大は止められません。今後において捕獲頭数の増加を図るため、捕獲従事者の人材の確保を図るためには、報償費または機材や研修の経費などの支援のさらなる拡充が必要と考えます。農業者の生産意欲を確保し、遊休農地を増やさないためには、未来に向けて、今、有害鳥獣対策が非常に重要となっています。有害鳥獣対策へのきめ細やかな対応をより一層よろしくお願いいたします。

私は、このたびの質問に際しましても、未来へのイメージや夢を持つことが大事であるとの考えで質問させていただきました。そこで、まず、スポーツ施設でもある富士見公園の野球場と庭球場のクラブハウスのトイレの改修について質問させていただきました。富士見公園は、一方では、広域避難場所にも指定されています。例えば、大地震時、下水道地域であれば、建物の倒壊はなくても埋設管の破損の可能性があります、上水道や下水道を利用できない地域が出てくる場合も想定されます。災害時に断水が起きた際、対応の一助となるであろう地下水の有効的な活用については以前質問させていただきました。今回の質問である富士見公園のトイレは浄化槽を用いており、放流先がすぐ近くで、埋設管の破損の可能性は低く、停電の際は発電機を用いて浄化槽を動かすことができます。トイレが使用できない被災者に対して、公園のトイレを改修することで災害時の一助になるとも考えたからであります。

そして、茂原警察署南側のJR高架下の歩道整備については財源の確保が問題点となりますが、線路沿線の地域一帯でさらに安全で利用しやすい道路が事業化できるよう、繰り返しになりますが要望させていただきます。

後半の質問では、河川内水対策として新たな導水路の検討と、農業振興問題については国と県と茂原市、そして、地域や地元との関わりについて質問させていただきました。

最後になりますが、毎回述べさせていただいている誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりの充実と健康で生きがいのあるまちづくりの推進を目指し、引き続き、市議会議員として活動に取り組んでまいりたいと考えておりますので、御協力をお願いいたします。

以上で、私の一般質問を終わりにいたします。ありがとうございました。

○議長（金坂道人君） 以上で工藤孝弘議員の一般質問を終わります。

ここでしばらく休憩します。

午前10時42分 休憩

————— ☆ ————— ☆ —————

午前11時05分 開議

○議長（金坂道人君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、高山佳久議員の一般質問を許します。高山佳久議員。

（6番 高山佳久君登壇）

○6番（高山佳久君） こんにちは。薫風もばらの高山佳久でございます。

まず初めに、今回の台風13号で被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、昼夜を問わず、休みなく台風13号の対応及び復旧に取り組んでおります当局の皆様、関係機関、ボランティアの皆様に厚く感謝を申し上げます。

それでは、通告に従い質問させていただきます。

質問項目1番目は、災害対策についてです。今年9月8日、平成以降5度目となる水害が台風13号により引き起こされてしまいました。8日、12時間に降った雨の量が371.5ミリと統計を取り始めてから最も多くなり、広い範囲で広範囲にわたって浸水被害を受けてしまいました。この災害を受けて、被害状況を詳しく分析し、何が不足し、今後どのような改修計画を立てて進めていくのか、早急に検討する必要が生じてきました。県の速やかな検討と実行に期待するところです。遡りますと、令和元年の房総半島台風は、9月8日早朝に強い勢力で千葉県付近に上陸し、猛烈な風、猛烈な雨をもたらしました。特に、風については、千葉県では最大風速35.9メートル、観測史上1位の最大瞬速、風速57.5メートルとなるなど記録的な暴風となりました。また、今年に関東大震災が起きてから100年目を迎えました。関東大震災以降も、阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震など、大きな地震が発生しており、今後も南海トラフ地震、首都直下地震などの発生が懸念されています。地震、台風、線状降水帯による大雨な

どの災害はいつ起こるのか予測がつきません。そういうことから、これらの災害に対し、事前に備えておくことが大変重要になってきます。そこで、まず、災害協定について質問いたします。現在締結している災害協定は幾つあり、その主なものは何かお伺いいたします。

次に、避難所運営についてです。市では平成28年12月に指定避難所開設運営マニュアルを策定し、新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ、令和2年9月に避難所における感染症対策を追記しています。市のホームページからもダウンロードすることができ、誰がどんな役割を担い、どう応援していったらよいのか詳しく示されています。ホームページには、避難所では、自治会や自主防災組織、避難者など、避難所に関わる方々が相互に連携しながら運営を行わなければなりませんとあります。しかし、実際に避難したときに中心となって活動してくれる方が何人かいないとうまく避難所の運営が機能しないのではないかと思います。また、市には指定避難所が28か所あり、学校、市民体育館、福祉センター等、施設も多様にわたっています。私も、8日の日、避難所となった豊田福祉センターで、直近動員3名の方とともに、千葉県災害対策コーディネーター茂原の担当として避難所の対応に当たりました。小さなお子さんや赤ちゃん連れの方、ペットの猫を連れてきた方、足の不自由な車椅子の方なども避難されてきました。そこで考えなければならないのは、どの部屋に行って避難してもらうかということです。授乳室やペットをどうするかと的確に瞬時に判断することに迫られました。事前にこれらのことを想定し、決めておく必要性を感じました。また、今回は30人弱の避難者で、多くの方が何日も避難しているということはありませんでしたが、長期に多くの方が避難していることになると、住民の方が中心となった避難所運営が必要だと思います。そこで、市では避難所を開設した際の住民による避難所運営を確実にを行うために、どのような取り組みをしているのかお伺いいたします。

続いて、冠水対策について質問いたします。今年の6月3日午前中の大雨により小林地区の羽貫自治会館周辺の道路が冠水し、1日中通行止めになり、道路沿いの住民は1日中自宅から出られないという状況がありました。今年はこれまで5月、6月、9月と3回の冠水、多い年は1年に6回の冠水があったとのこと。令和3年の9月定例会においても質問いたしましたが、その原因となっているのが、茂原セントラルモール西側の排水路の流れが悪いことに原因があります。平成26年に排水路整備計画が作成されているということですが、一部両総土地改良区から移管されていないため整備が未実施ということでした。そこで現在、排水路整備に必要となる水路用地の更正事務の進捗状況についてお伺いいたします。

続いて、質問項目2番目の子育て支援についてお聞きいたします。3年間、コロナ禍が続い

たことで、子育てをしている方が孤立化し、子育ての不安感、負担感が増加していると考えられます。また、子どもたちも、多様な大人、子ども同士の関わりの減少が予想されます。地域の子育て支援を活性化し、子育ての不安感などを解消し、子どもの健やかな成長を目的としている子育て支援センターの役割やそれらの課題解消に大きく貢献するものと考えます。そこで、市には子育て支援センターは何か所あり、毎月の利用人数はおおよそ何人くらいかお伺いいたします。

次に、養育支援訪問事業についてお聞きします。児童福祉法に基づいた養育支援訪問事業は、子ども・子育て支援法第59条の地域子ども・子育て支援事業の1つとして、市町村が地域の実情に応じ、市町村子ども・子育て支援事業計画に従って実施する事業とあります。そこで、市では、令和3年度、令和4年度及び今年度、これまでの訪問件数はどれくらいかお伺いいたします。

次に、保育所地域連携推進員についてです。国は、保育所等における要支援児童等対応推進事業として、保育所等において、保育士等が有する専門性を生かした保護者の状況に応じた相談支援などの業務を行う地域連携推進員の配置を促進し、保育所等における要支援児童等の対応や関係機関との連携の強化、運営の円滑化を図ることを目的に、国が2分の1、都道府県が4分の1、市区町村が4分の1の補助割合で事業を展開するとしています。そこで、市では保育所地域連携推進員を保育所等に配置することはできないかお伺いいたします。

次に、学童クラブについて質問いたします。学童保育は、児童福祉法第6条の3、第2項の規定に基づき、保護者が仕事などの理由で、昼間、家にいない小学生に対して、授業の終了後などに児童厚生施設などの施設を利用して、適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図るものとされています。全国学童保育連絡協議会によると、小学生が学童保育で過ごす時間は、長い子どもで約1680時間に上り、小学校で過ごす時間よりも400時間以上も多いと言われています。そういうことから考えると、学童保育において、子どもと接する支援員は重要な存在です。現在は学童保育の需要が高まっており、支援が果たす役割はますます大きくなっています。そこで、学童クラブに従事する支援員にはどのような資格が必要かお伺いいたします。

次に、質問項目3番目、学校教育の充実についてです。

まず、安全・安心な学校生活について質問いたします。東京都杉並区の小学校の校庭で、運動会などで目印に打ち込んだと見られるくぎ500本超が放置され、児童が大けがをしたということがありました。区内のほかの小学校などからもくぎが見つかり、文部科学省は安全点検の

徹底を全国の教育委員会に通達したとのこと。そこで、市ではどのような安全点検を行っているのか、お伺いいたします。

また、熱中症対策について質問いたします。北海道で8月22日、小学校2年生の女儿が体育の授業後に熱中症と見られる症状で死亡するという事故がありました。熱中症の危険度を示す暑さ指数が危険の状態で、運動は原則中止になっていたことを学校側が確認せず、屋外での運動を行っていたそうです。そこで、学校での熱中症対策はどのように行っているのかお伺いいたします。

次に、学校における学習環境の整備について質問いたします。今年の夏は、統計の残る過去126年で最も暑かったということです。日本だけでなく、世界各地を熱波が襲いました。国連のグテーレス事務総長は、地球沸騰の時代と表現し、地球温暖化に対する危機感を強めています。9月に入って中旬になりますが、30度を超える暑い日がまだまだ続いています。市内の小中学校では、この暑さに対して、普通教室はエアコンが設置され、学習しやすい環境の中で過ごしています。しかし、より良い学習の効果を深めるためには、普通教室以外の特別教室での学習も必要となります。そこで、小中学校での特別教室へのエアコンの設置状況についてお伺いいたします。また、学習環境でいえば、雨漏りをしている学校もあると聞きます。そこで、雨漏りの修繕の状況はどうかお伺いいたします。

最後に、教職員の働き方改革に関係することについて質問いたします。スポーツ庁と文化庁は、2022年12月に策定した学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドラインにおいて、2023年度から2025年度の3年間を改革推進期間と位置づけ、部活動改革を進めていくこととしています。そこで、中学校の部活動の地域移行の状況はどうかお伺いいたします。

続いて、校務支援ソフトについてですが、一人ひとりの教職員が校務支援ソフトを効果的に使用できるようになれば、働き方改革についてとても有効であると思います。そこで、校務支援ソフトを効果的に使用できるようにするために、どのようなことを行ったのかお伺いいたします。

以上で1回目の質問は終わりにいたします。御答弁よろしくお願ひいたします。

○議長（金坂道人君） ただいまの高山佳久議員の一般質問に対し、当局の答弁を求めます。

市長 田中豊彦君。

（市長 田中豊彦君登壇）

○市長（田中豊彦君） 高山佳久議員の一般質問にお答えさせていただきます。

その前に、昨日もちょっと話させていただきましたが、8日の越水でございます。大雨によります被害でございますが、この後、議員の一般質問にお答えさせていただきますけども、令和元年の水害、その前の平成25年の水害がありまして、私としても25年の水害があまりにもあれだったので、国あるいは県にも強くその時点から言ってきたところですが、令和元年の水害等によりまして、私どもここにいる職員も含めまして、一番よく河川の状況が分かるわけでございます。そういう状況の中で、少なくとも、いつまたこういう、線状降水帯とかゲリラ豪雨とか言われておりますので、たまたま今年はラッキーで茂原のほうに来なかった、この8日以前は。続いていたものですから、本当にラッキーかなと私個人としては思っていたんですが、その間ずっと言い続けてきたのは、一宮改修事務所、いわゆる一宮川全体を取りかかる県あるいは国の方たちにも強く言ったことですが、いつ来るか分からないと。できれば、仮設でもいいから1メートルの嵩上げを全体、これは一宮川だけじゃなくて阿久川、豊田川、それから鶴枝川、県が管理している河川を主に重点的に、仮設でいいからやっていただきたいと。仮設のやり方はいろいろありますよ。今回、一宮川がやったように1トン土のうを積んだり、私どもから要請したのは、側溝でもいいですからU字溝で1メートルぐらいのタッパー、中に砂を入れましてアンカーで真ん中を埋めちゃう、打ちちゃうと、動かないようにね。そういうようなやり方も仮設でできるので、やっていただきたいという申出を何度も言ったんですよ、私、この会議で。ずっと言い続けてもさすがにもう嫌になって、向こうも地盤沈下も含めまして50センチが精いっぱいですという返事でしたので、それから、一宮川流域も河川幅を広げていますので、激特で。ですから、大丈夫でしょうという返事ございました。だから仮設でいいからとさんざん言った挙げ句、このざまです。言ったら悪いですけど、私の言うことがある程度、県あるいは国の当事者に届いていれば、ここまでひどい水害にはならなかったかなと。冒頭、昨日も言ったとおり、いまだに非常に悔やまれております。今検証させています。阿久川も見ましたが、約80センチ、70センチぐらいです。高さを測らせています。全部やらせています。この結果はどういうことになるかということは後で実証されると思いますが、仮設でもいいから本当に1メートルやってくれれば、こんな大きな被害にはつながってこなかったと思います。

それで致命的なのは、昨日言ったように一宮川の1か所の欠落です。仮設でやった土のうがなくなっている。そこから、一宮川から八千代方面に水がどんどんどんん流れていると。これを見た人は何人もいるわけです。これはもう決定的なことなので、調査依頼をかけたところでありまして。だから、その調査が来てから、もうちょっと、どうするのかというのは話さなきゃいけないんですが、またいつ来るか分からないと、昨日も言いましたとおり、9月、10月が

一番多いので。ですから、少なくともこの災害を緊急に、こんな災害の会議ばかりやっていたってしょうがないので、1トン土のうをどんどんどん積み上げて、今起きたところ、阿久川とか豊田川も含めまして、早急にやっていただきたいと、これは県に要請しております。恐らくそういうふうやっていっていただけるんじゃないかと思っておりますが、これでやっていただかないと、またこの水害が多分起きると思います、近々、もうずっと言っていますけど。ですから、この防ぎようがないような状況が、内水もありますけども、見た中ではこれがほぼ今の状況かなということでございます。

それでは、一般質問にお答えさせていただきます。

私からはまず、災害対策についての中で、現在締結している災害協定の数とその主なものについての御質問でございますが、現在本市が締結している災害協定は56件あり、主な内容は、医療活動に関するものが5件、応急対策活動に関するものが8件、物資等の供給に関するものが19件、情報収集・伝達に関するものが9件、そのほか15件であり、支援協力の内容については多岐にわたっているところでございます。

次に、住民による避難所運営を確実にを行うための取り組みについての御質問でございますが、市では住民による避難所運営を確実にを行うため、毎年実施している地域防災訓練で、住民を主体とした避難所の開設、運営を体験していただくとともに、自主防災組織を対象としたリーダー育成研修を実施し、避難所運営組織の中心となる人物の育成に努めております。また、避難所ごとの運営マニュアルも必要と考えており、そこでの避難所生活が予測される市民の方々をはじめ、施設管理者、行政で協議をしながら、作成に向け、自主防災組織などに働きかけてまいります。

私からは以上でございます。

○議長（金坂道人君） 都市建設部長 渡辺修一君。

（都市建設部長 渡辺修一君登壇）

○都市建設部長（渡辺修一君） 都市建設部所管に関わります御質問に御答弁いたします。

災害対策についての御質問で、冠水対策の中で、茂原セントラルモール西側の排水路整備に必要な水路用地の更正事務の進捗状況との御質問ですが、これまでに両総土地改良区長生支所において用地測量を行い、地権者との境界が確定しております。現在、千葉地方法務局茂原市局と地図訂正の協議を行っており、今年度末までに完了するように取り組んでいると伺っております。以上でございます。

○議長（金坂道人君） 福祉部長 平井 仁君。

(福祉部長 平井 仁君登壇)

○福祉部長(平井 仁君) 福祉部所管に関わります御質問に御答弁申し上げます。

子育て支援の中の子育て支援センターについて、子育て支援センターは何か所あり、毎月の利用人数はおおよそ何人くらいかとの御質問ですが、子育て支援センターは地域の子育て中の親子の相互交流や育児相談ができる場であり、高師保育園、東茂原保育園、アップル幼稚園、ほのおかこども園、もばら空と杜のこども園の5か所で運営しております。毎月の利用人数は、令和4年度の実績では、高師保育園と東茂原保育園がそれぞれ概ね100人程度、アップル幼稚園が70人程度、ほのおかこども園ともばら空と杜のこども園がそれぞれ10人程度となっております。なお、東茂原保育園につきましては、担当職員の不足により、令和5年5月から令和6年3月末まで子育て支援センターの運営を一時休止しております。

次に、養育支援訪問事業について、令和3年度、令和4年度及び今年度、これまでの訪問件数がどれくらいかとの御質問ですが、養育支援訪問事業につきましては、養育支援が必要な家庭に訪問し、授乳やおむつ交換、子どものしつけ方法等の指導、助言を行う専門的相談支援や食事の準備や掃除などを行う家事育児支援を行うものでございます。訪問件数につきましては、令和3年度は、専門的相談支援が111件、家事育児支援は令和4年度から開始したため、未実施でした。令和4年度は専門的相談支援72件、家事育児支援51件、合計123件、令和5年度は7月末現在で、専門的相談支援8件、家事育児支援44件の合計52件でございました。

次に、保育所地域連携推進員について、保育所地域連携推進員を保育所等に配置することはできないかとの御質問ですが、地域連携推進員は保育士、社会福祉士または精神保健福祉士等の資格を有する者が担うものとされております。保育所等に配置することで、専門性を生かした相談支援及び巡回支援を実施することが可能となり、保育所等における要支援児童やその保護者への適切な支援が図れるものと理解しております。しかしながら、推進員となる人材の確保等、課題もあることから、現時点での配置は難しいものと考えております。

次に、学童クラブについて、学童クラブに従事する支援員にはどのような資格が必要かとの御質問ですが、学童クラブにおいては放課後児童支援員を置かなければならないとされております。この放課後児童支援員の資格は、保育士、社会福祉士、幼稚園教諭、小学校教諭等の資格を有する方や、高等学校を卒業し2年以上学童クラブでの実務経験を有する方が、千葉県が行う研修を修了することで取得することができます。また、放課後児童支援員の業務をサポートする補助員として従事する場合には、特に資格は必要ございません。以上でございます。

○議長(金坂道人君) 教育長 内田達也君。

(教育長 内田達也君登壇)

○教育長(内田達也君) 教育関係の御質問に御答弁申し上げます。

初めに、安全・安心な学校生活について、東京都では運動会などの目印で使用したくぎだけがをしたことを受け緊急点検を行ったが、市ではどのような安全点検を行っているのかとの御質問でございますが、各学校では、授業や運動会の際に、ポイントマークやロープの固定用としてピンを使用しています。使用後は直ちに撤去するなど、事故防止に努めるとともに、長期にわたり使用する場合は、月に1度の安全点検だけでなく、日頃から管理職や体育主任を中心に安全確認を行っております。このたびの東京都の事故を受けて各学校に校庭の点検を依頼したところ、危険と判断されるようなピン等の危険物はございませんでした。

次に、学校での熱中症対策でございますが、千葉県教育委員会が策定した学校における熱中症対策ガイドラインにのっとり取り組んでおります。具体的には、熱中症アラートの発令状況や各学校でのWBGT測定器により暑さ指数を測定し、屋外での活動実施の可否の判断及び休憩時間の確保や水分補給等の対策を取りながら対応しております。

次に、学校における学習環境の整備について、小中学校の特別教室のエアコンの設置状況でございますが、小中学校におきましては、普通教室には全てエアコンを設置しております。普通教室以外では図書室、保健室、音楽室、職員室、また、中学校の理科室などにエアコンを設置しており、普通教室以外の約5割が設置済みとなっております。美術室や家庭科室、技術科室、小学校の理科室など、いまだ設置ができていない教室等については、今後も国の補助金を有効に活用し、予算の確保を図りながら設置に努めてまいりたいと考えております。

次に、雨漏りの修繕状況でございますが、直近の2年間の状況では、令和4年度に7件、今年度は8月末時点で5件の修繕や補修工事を実施しており、雨漏りにつきましては適宜修繕等に対応し適正管理に努めております。

次に、教職員の働き方改革について、本市の中学校部活動の地域移行につきましては、千葉県のガイドラインに基づき、平日は現状のまま学校で行い、休日は地域へ移行し、生徒たちが地域でスポーツや文化・芸術活動を行うことを目指しています。令和5年度は市内で1つの部活動の地域への移行を予定しており、現在、学校部活動地域移行推進協議会の開催に向け準備を進めております。

次に、教職員の働き方改革のために校務支援ソフトを効果的に使用できるよう、どのようなことを行ったのかとの御質問でございますが、校務支援ソフトの導入時には学校ごとに研修を行い、また、毎年度当初には新任者・異動者等を対象に研修会を実施しております。また、使

用上の不明点については、その都度システム業者、コールセンターで対応できるようにしております。以上でございます。

○議長（金坂道人君） 再質問ありますか。高山佳久議員。

○6番（高山佳久君） 御答弁ありがとうございました。

それでは、災害対策について再質問いたします。

まず、災害協定についてです。平時の減災等に関する協定を結んでいるところはあるのでしょうか。あるとしたら、どのような内容でしょうか、お伺いいたします。

○議長（金坂道人君） 総務部長 渡邊正統君。

○総務部長（渡邊正統君） 平時に適用される協定が3件あり、東京電力パワーグリッド株式会社木更津支社とは、災害予防について必要な措置を行う内容となっております。また、コカ・コーライーストジャパン株式会社と株式会社伊藤園とは、各避難所へ備蓄飲料水を毎年供給する内容となっております。以上でございます。

○議長（金坂道人君） 高山佳久議員。

○6番（高山佳久君） 東京電力パワーグリッド株式会社木更津支社との基本協定に基づく覚書の中に災害の予防の項目がありますが、その内容は何でしょうか、お伺いいたします。

○議長（金坂道人君） 総務部長 渡邊正統君。

○総務部長（渡邊正統君） 覚書では、台風等で電力設備への被害が想定される箇所の予防伐採について情報共有等の協力体制を図り、連携し、可能な範囲において必要な措置を取ることとなっております。なお、東京電力で行う予防伐採は、直接電線に触れている枝木のみを伐採することと伺っております。以上でございます。

○議長（金坂道人君） 高山佳久議員。

○6番（高山佳久君） 予防伐採について、情報共有等の協力体制を図るとありますが、具体的にどのように行っているのでしょうか、お伺いいたします。

○議長（金坂道人君） 総務部長 渡邊正統君。

○総務部長（渡邊正統君） 市の職員が電線等の電力設備への被害が想定される枝木を発見した場合など、東京電力と情報を共有する協力体制を図っております。以上でございます。

○議長（金坂道人君） 高山佳久議員。

○6番（高山佳久君） 林野庁の行っている森林環境譲与税の公益的機能の発揮の1つに災害防止・国土保全機能がありますが、その譲与税の一部を使って道路や主要インフラに隣接する森林について整備できないかお伺いいたします。

○議長（金坂道人君） 経済環境部長 飯尾克彦君。

○経済環境部長（飯尾克彦君） 茂原市森林環境整備基本計画に基づき、森林整備の優先順位が高い法目及び萱場地区の森林所有者に森林の管理に関する意向調査を昨年度実施いたしました。本年度は、その調査結果を踏まえ、森林環境譲与税を活用して、道路や主要インフラに隣接する森林の伐採及び植栽を実施いたします。以上です。

○議長（金坂道人君） 高山佳久議員。

○6番（高山佳久君） 災害時の対応は緊急を要します。倒木等が道路を塞いでしまうと対応が遅れてしまうことが考えられます。また、電線等の切断が多い場合、停電の復旧にも時間がかかってしまいます。災害に対する備えの取り組みを確実にお願いいたします。

次に、避難所運営についてです。今年度の地域防災訓練はどの地区を対象に、どのような内容の訓練を行う予定があるのかお伺いいたします。

○議長（金坂道人君） 総務部長 渡邊正統君。

○総務部長（渡邊正統君） 今年度の地域防災訓練は、鶴枝地区を対象に、鶴枝小学校、南中学校で来年2月に行う予定であります。内容といたしましては、毎年、鶴枝自治会長連合会でやっている避難所開設訓練に併せてエアベッド、段ボールパーティション、組立て式トイレ等の資機材の設営や瓦礫からの救出、応急手当などの訓練を予定しております。以上でございます。

○議長（金坂道人君） 高山佳久議員。

○6番（高山佳久君） 避難所運営について、先進的な取り組みをしている地域はあるのでしょうか。あるとしたら、その取り組みを紹介するなどの機会はあるのかお伺いいたします。

○議長（金坂道人君） 総務部長 渡邊正統君。

○総務部長（渡邊正統君） 先ほど申しました鶴枝自治会長連合会では、避難所運営体制が整備され、構成する自治会ごとに役割を明確化するなど、先進的な取り組みをしております。市では毎年、自主防災組織連絡会議を開催しており、その中で先進的な事例発表の機会を設けております。以上でございます。

○議長（金坂道人君） 高山佳久議員。

○6番（高山佳久君） 自主防災組織を対象としたリーダー育成研修について、今検討している研修の内容はどうかお伺いいたします。

○議長（金坂道人君） 総務部長 渡邊正統君。

○総務部長（渡邊正統君） リーダー育成研修として、大災害発生時の地元地区での現場活動、

要配慮者の保護、地区災害対応本部の運営等を模擬体験する災害時対応運営ゲーム、SUGとありますが、それによる図上訓練研修を予定しております。以上でございます。

○議長（金坂道人君） 高山佳久議員。

○6番（高山佳久君） 災害時避難所では想定外の対応に迫られることもあります。避難所ごとの運営マニュアルの作成を急ぎ、それを基にした自治会や自主防災会の運営訓練を進める必要があると思います。また、多くの方に地域防災訓練や先進的な取り組みを紹介する機会を設けていただければと思います。

次に、冠水対策についてです。茂原セントラルモール西側の排水路について、地図訂正の協議が完了した後の事業着手について、どのように考えているのかお伺いいたします。

○議長（金坂道人君） 都市建設部長 渡辺修一君。

○都市建設部長（渡辺修一君） 未着手である内水対策箇所の優先順位を判断した上で取り組んでまいりたいと考えております。

○議長（金坂道人君） 高山佳久議員。

○6番（高山佳久君） 小林地区の羽貫自治会館の方は、年に何回も道路の冠水があり、大変困っているとのこと。茂原セントラルモール西側の排水路の改修については、いつになるか分からない状況ですが、今年、茂原街道横に隣接するところにつきましては、壁面が崩れたのを直していただきました。また、排水路一帯を覆っていたヨシを刈っていただきました。今後できるだけ流れが良くなるような取り組みをお願いいたします。

台風13号による被害は、治水工事のさなかの水害となってしまいましたが、県では、被害の状況を適切に調査し、想定以上の大雨被害が今後も起きるといった想定の下に、改修工事の追加等早急な取り組みを要望いたします。また、豊田川も市役所周辺や茂原街道沿いが広く冠水したほか、阿久川の上流部においても冠水被害があり、そのほかの支流においても冠水被害があったと伺っています。阿久川上流部は6月3日にも冠水し、ハウスが水につかる被害もありました。豊田川や阿久川を含め、一宮川主流も早期に河川改修が行われるように県へ要望することをお願いいたします。水害のない茂原市になることなく茂原市の発展はないと思いますので、県及び関係機関には冒頭強く要望いたします。

次に、子育て支援について再質問いたします。

まずは子育て支援センターについてです。子育て支援センターはどのような方を対象にしているのかお伺いいたします。

○議長（金坂道人君） 福祉部長 平井 仁君。

○福祉部長（平井 仁君） 対象は、ふだん保育所や認定こども園等に通っていない児童とその保護者としております。以上になります。

○議長（金坂道人君） 高山佳久議員。

○6番（高山佳久君） コロナ禍であって、子育てについての不安などをなかなか相談できなかったということもあったと思います。子育て支援センターが保育所に開設されていることをより多くの子育て中の皆様に知ってもらえる手だてを取っていただければと思います。

続いて、養育支援訪問事業についてです。養育支援訪問は、どのような資格を持った方が行っているのでしょうかお伺いいたします。

○議長（金坂道人君） 福祉部長 平井 仁君。

○福祉部長（平井 仁君） 専門的相談支援につきましては、養育支援訪問員として委嘱された保健師、看護師、保育士、獣医師の資格を有する方が行っております。また、家事育児支援につきましては、委託を受けた民間事業者が行っております。以上でございます。

○議長（金坂道人君） 高山佳久議員。

○6番（高山佳久君） 獣医師まで配置し、ペットの飼い方まで支援しているということで、手厚く幅広い支援が行われていることが分かりました。

続いて、保育所地域連携推進員についてです。地域連携推進員を外部委託するなどの方法は検討できないでしょうか、お伺いいたします。

○議長（金坂道人君） 福祉部長 平井 仁君。

○福祉部長（平井 仁君） 人材を確保するための方法につきましては、現在他の自治体で実施している取り組みを参考にしてまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長（金坂道人君） 高山佳久議員。

○6番（高山佳久君） 地域連携推進員が行う内容に近い業務を市では行っているのでしょうか。行っているとしたら、どこが担当しているのでしょうか、お伺いいたします。

○議長（金坂道人君） 福祉部長 平井 仁君。

○福祉部長（平井 仁君） 地域連携推進員の業務とされるもののうち、保護者の状況に応じた相談支援や児童相談所や医療機関と連携した要支援児童等の対応につきましては市で行っており、子育て支援課、子育て家庭相談室が担当しております。以上でございます。

○議長（金坂道人君） 高山佳久議員。

○6番（高山佳久君） 子育て家庭相談室が現在行っているということで安心いたしました。今後地域連携推進員について、動向を注意深く見守り、必要なときには配置いただけるよう

お願いいたします。

続いて学童クラブについてです。放課後児童支援員は各学童クラブにおおよそ何人ぐらい配置しているのでしょうか、お伺いいたします。

○議長（金坂道人君） 福祉部長 平井 仁君。

○福祉部長（平井 仁君） 放課後児童支援員及び補助員につきましては、学童クラブごとに2人以上配置し、そのうち1人は必ず支援員とすることとされております。本市においては、全ての学童クラブでこの基準を満たしております。以上でございます。

○議長（金坂道人君） 高山佳久議員。

○6番（高山佳久君） 学童クラブのニーズは今後ますます高まってくると思います。安全の面からも常に基準を満たすことができるよう、お願いいたします。

次に、学校教育の充実について再質問いたします。

まずは安全・安心な学校生活についてです。小中学校の施設設備の安全点検について、今回の件に限らず、今後特に点検を指示したり専門の業者などに依頼したりする予定はあるのでしょうか、お伺いいたします。

○議長（金坂道人君） 教育部長 中村一之君。

○教育部長（中村一之君） 施設や設備の安全点検につきましては、毎年、特殊建築物の定期調査や自家用電気工作物、エレベーター、ガスヒートポンプ、消防用設備などの保守点検業務を専門業者に委託しており、引き続き、専門性を要する業務につきましては委託してまいります。また、毎月、教職員による施設設備等の安全点検を実施し、児童生徒の安全確保に努めております。

○議長（金坂道人君） 高山佳久議員。

○6番（高山佳久君） 熱中症対策として、WBGT測定器により、暑さ指数は誰がいつ測定しているのでしょうか、お伺いいたします。

○議長（金坂道人君） 教育部長 中村一之君。

○教育部長（中村一之君） 主に養護教諭や担当職員が、活動の前後や正午を目安に活動場所ごとに測定しております。

○議長（金坂道人君） 高山佳久議員。

○6番（高山佳久君） 外での活動実施の可否の判断は誰が行っているのでしょうか、お伺いいたします。

○議長（金坂道人君） 教育部長 中村一之君。

○教育部長（中村一之君） 管理職が、養護教諭の見解を踏まえ、活動実施の可否を判断しております。

○議長（金坂道人君） 高山佳久議員。

○6番（高山佳久君） 大きな事故が起こってしまったからでは遅いです。学校での安全・安心な学校生活が継続できるよう、今後も取り組んでいただけるようお願いいたします。

続いて、学校における学習環境の整備についてです。昨年度はどこの学校の特別教室にエアコンを設置したのでしょうか。また、今年度はどうかお伺いいたします。

○議長（金坂道人君） 教育部長 中村一之君。

○教育部長（中村一之君） 昨年度は本納中学校の美術室、技術室、調理室、被服室にエアコンを設置いたしました。今年度につきましては、予算上新たな空調機設置工事の予定はございませんが、今後も計画的な設置に努めてまいりたいと考えております。

○議長（金坂道人君） 高山佳久議員。

○6番（高山佳久君） 雨漏り以外の修繕について、業者に頼むほどではない修繕はどのようにしているのでしょうか、お伺いいたします。

○議長（金坂道人君） 教育部長 中村一之君。

○教育部長（中村一之君） 小破修繕の担当職員3名により対応しております。

○議長（金坂道人君） 高山佳久議員。

○6番（高山佳久君） 温暖化の影響で、気温の高い日が今後も増えると思います。エアコンの設置について、今後も早期の設置をお願いいたします。また、小破修理担当者は、学校だけでなく保育所にも2名いるとお聞きいたしました。学校や保育所ではとても助かっているという声が多く聞かれます。今後とも継続してお願いいたします。

続いて、教職員の働き方改革についてです。部活動地域移行の協議会の委員は、どのように選定していくのでしょうか。現在分かっていることをお伺いいたします。

○議長（金坂道人君） 教育部長 中村一之君。

○教育部長（中村一之君） 本年9月に定めた茂原市学校部活動地域移行推進協議会設置要綱に基づき、地域移行に関係するスポーツ、文化芸術分野の関係団体、また、保護者及び学校関係者から15名を上限として選出することとなっております。

○議長（金坂道人君） 高山佳久議員。

○6番（高山佳久君） 教職員の業務改善のために、校務支援ソフトのほかにどのような取り組みをしているのでしょうか、お伺いいたします。

○議長（金坂道人君） 教育部長 中村一之君。

○教育部長（中村一之君） 業務改善にあたりましては教職員の意識改革が重要と考えておりますので、日頃から管理職による働きかけを行っております。また、職員会議のペーパーレス化や留守番電話の導入、スクールサポートスタッフの配置など、教職員の負担軽減を図っております。

○議長（金坂道人君） 高山佳久議員。

○6番（高山佳久君） 中学校の部活動地域移行につきましては、生徒や保護者、教員、地域の声を十分に聞きながら進めるようお願いいたします。教職員の働き方改革を進めることによって児童生徒へのより良い教育の提供が実現されるとともに、教職の魅力向上、そして教職員の成り手不足解消にもつながると考えております。今後ともより一層の教職員の働き方改革の推進をお願いいたしまして、私の一般質問を終わりにいたします。ありがとうございました。

○議長（金坂道人君） 以上で高山佳久議員の一般質問を終わります。

これをもって本日の議事日程は終了しました。

明日は午前10時から本会議を開き、認定案第1号から第7号、並びに議案第1号から第6号までの質疑後、委員会付託を議題とします。

本日は以上で散会します。御苦労さまでした。

午前11時58分 散会

————— ☆ ————— ☆ —————

○本日の会議要綱

1. 一般質問

1. 工藤孝弘議員の一般質問並びに当局の答弁

- ① 公園の整備について
- ② 交通安全について
- ③ 水害対策について
- ④ 農業振興について

2. 高山佳久議員の一般質問並びに当局の答弁

- ① 災害対策について
- ② 子育て支援について
- ③ 学校教育の充実について

○出席議員

議長 金坂道人君

副議長 田畑毅君

1番	御園敏之君	2番	工藤孝弘君
3番	河野英美君	4番	横堀喜一郎君
5番	河野健市君	6番	高山佳久君
8番	石毛隆夫君	9番	岡沢与志隆君
11番	杉浦康一君	12番	小久保ともこ君
16番	中山和夫君	17番	細谷菜穂子君
18番	鈴木敏文君	19番	平ゆき子君
20番	ますだよしお君		

☆

☆

○欠席議員

14番	山田広宣君	22番	常泉健一君
-----	-------	-----	-------

☆

☆

○出席説明員

市長	田中豊彦君	副市長	豊田正斗君
教育長	内田達也君	理事	鈴木祐一君
総務部長	渡邊正統君	企画財政部長	佐久間尉介君
市民部長	中田喜一郎君	福祉部長	平井仁君
経済環境部長	飯尾克彦君	都市建設部長	渡辺修一君
教育部長	中村一之君	総務部次長 (総務課長事務取扱)	菅谷直博君
企画財政部次長 (企画政策課長事務取扱)	佐久間栄一君	市民部次長 (生活課長事務取扱)	飯島博美君
福祉部次長 (社会福祉課長事務取扱)	鬼島啓太君	経済環境部次長 (農政課長事務取扱)	小高一宏君
都市建設部次長 (土木建設課長事務取扱)	白井高君	都市建設部次長 (建築課長事務取扱)	高橋啓一君
教育部次長 (教育総務課長事務取扱)	白井康史君	職員課長	神馬幹夫君
財政課長	安田博彦君		

————— ☆ ————— ☆ —————

○出席事務局職員

事務局長	宮本弘美
局長補佐	東間一博
議事係長	金綱邦彦